

【相談】

1 がまごおり妊娠・出産・子育てサポート事業

令和5年1月から住み慣れたまちで安心して子育てするため、妊娠届出時・妊娠8か月頃・赤ちゃん訪問時の面談や継続的な情報提供により、必要な支援につなぐ伴走型相談支援を行う。それとともに、経済的支援として、伴走型相談支援と一体化して妊娠届出・出産届出を行った方に各5万円の現金支給と妊娠8か月頃の面談に参加した妊婦へ、蒲郡市独自のギフトをプレゼントする。

<事業区分>

- (1) 伴走型相談支援
- (2) 経済的支援

<実施状況>

- (1) 伴走型相談支援
 - ア 妊娠応援サポート
 - (ア) 対象者 妊婦
 - (イ) 実施時期 妊娠届け出時
 - (ウ) 実施内容 妊娠届出書とアンケートをもとに個別相談、子育てファイルを活用して子育て支援情報紹介及びセルフプラン作成
 - (エ) スタッフ 保健師又は助産師、必要時子育てコンシェルジュ
 - イ 出産応援サポート
 - (ア) 対象者 妊娠8か月頃の妊婦
 - (イ) 実施時期 妊娠8か月頃
 - (ウ) 実施方法 プレママサロン（集団）又は個別面談
 - (エ) 実施内容 プレママサロン（集団）
妊娠中の栄養について講話、お茶会、フルーツの生演奏、セルフプラン作成、情報交換
個別面談
アンケートをもとに個別相談、セルフプラン作成
 - (オ) スタッフ プレママサロン（集団）
助産師、保健師、管理栄養士、子育てコンシェルジュ
個別面談
助産師又は保健師
 - ウ 子育て応援サポート
 - (ア) 対象者 出生した子どもを養育する者
 - (イ) 実施時期 こんにちは赤ちゃん訪問
 - (ウ) 実施内容 アンケートをもとに個別相談、セルフプラン作成
 - (エ) スタッフ 保健師又は助産師又はこんにちは赤ちゃん訪問員
- (2) 経済的支援
 - ア 事業内容
 - (ア) 妊娠応援ギフト 現金5万円
 - (イ) 出産応援ギフト 市独自のギフト（ベビーケット&ハンカチセット）
 - (ウ) 子育て応援ギフト 現金5万円（多胎児の場合子どもの数を支給）

<実施結果>

(1) 伴走型相談支援

	実施人数
妊娠応援サポート	718人（うち事業開始前遡及分 606人）
出産応援サポート	44人（集団28人、個別16人）
子育て応援サポート	409人（うち事業開始前遡及分 354人）

(2) 経済的支援

	ギフト支給人数及び支給金額
妊娠応援ギフト	35,900,000円（718人×50,000円）
出産応援ギフト	44人
子育て応援ギフト	20,450,000円（409人×50,000円）

2 母子健康手帳の交付と妊婦相談

母子健康手帳交付を通じ、妊娠中の健康管理の必要性を理解し、妊娠・出産に対する不安の軽減・愛着形成を促すことを目的に実施している。令和元年度より子育て世代包括支援センターで実施している。セルフプランを作成し、よりきめ細やかな妊婦相談を実施している。また、令和4年度より滞在時間短縮のためオンライン予約及び事前アンケートの実施を始めた。

<実施状況>

- (1) 実施日時 月～金曜日 午前8時30分～午後5時
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 周知 妊娠届出書発行時案内配布、広報、健康ガイド、ホームページ
- (4) スタッフ 保健師、助産師
妊婦の相談内容に応じて子育てコンシェルジュ、心理相談員、
家庭児童相談員が随時対応する
- (5) 内容 母子健康手帳と妊産婦・乳児健康診査受診票の活用方法の説明
セルフプラン作成し妊娠中の生活や育児等の相談

<実施結果>

母子健康手帳発行数 468冊（双胎3組のため妊婦数は465人）

3 妊娠8か月面談

妊婦とその家族が、妊娠中や産後の生活をイメージし、安心して出産・子育てができるように、対象者のニーズに合わせて集団（プレママサロン）・個別（面接、訪問、オンライン）で実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 令和5年2月～令和5年3月
①プレママサロン（年4回）
午前10時～午前11時30分もしくは午後1時～午後2時30分
②個別相談 週2日
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 妊娠8か月頃の妊婦とその家族
- (4) スタッフ 助産師、保健師1～2人、管理栄養士、子育てコンシェルジュ
- (5) 周知 母子健康手帳の交付時にちらし配布、ホームページ、個別通知等
- (6) 内容 ①プレママサロン
講話：妊娠中の栄養
お茶会、フルートの生演奏
セルフプラン作成と情報交換
②個別相談
セルフプラン作成、相談

<実施結果>

参加妊婦数	プレママサロン	28人
	個別相談（オンライン含む）	16人

4 産後ケア事業

産後の母親の心身の回復を図り、授乳や育児に対する不安を軽減することで安心して自宅で育児ができることを目的に医療機関及び助産所に委託して実施している。また、令和4年度より自宅で産後ケアを利用できるようアウトリーチ型を開始した。

<実施状況>

- (1) 実施場所
- ① 宿泊型
蒲郡市民病院、オレンジベルクリニック、パークベルクリニック、豊橋市民病院、小石マタニティクリニック、ふたば助産院豊川、山田産婦人科
 - ② デイサービス型
オレンジベルクリニック、伊藤スマイル助産所、ふたば助産院豊川、山田産婦人科、小石マタニティクリニック
 - ③ アウトリーチ型
自宅（委託：伊藤スマイル助産所、委嘱：助産師・保育士）
- (2) 利用日数 1回の出産ごとに宿泊型、デイサービス型、アウトリーチ型を各7日間上限
- (3) 対象者 市内に住所を有する産婦と1歳未満（病院の場合は4か月未満）の児であり、下記のいずれかに該当するもの
- ① 出産後に心身の不調又は強い育児不安がある者
 - ② 産婦等の出産退院後の在宅生活において、養育上の支援が特に必要であると産科医療機関等が認める者
 - ③ その他市長が特に支援の必要があると認める者
- (4) 周知 母子健康手帳の交付時にちらし配布、医療機関等からの紹介、広報、健康ガイド、ホームページ等
- (5) 内容
- ① 産婦の母体管理及び生活面の指導
 - ② 産婦の心理的ケア
 - ③ 乳房管理及び授乳指導
 - ④ 乳児の世話並びに発育及び発達の確認
 - ⑤ 沐浴、スキンケア等の育児指導
 - ⑥ その他必要とする保健指導及び相談
- (6) 自己負担金

区分		利用料	
訪問型	夫婦の前年所得（合算）730万円以上	1日につき	4,800円
	夫婦の前年所得（合算）730万円未満		2,400円
デイサービス型	夫婦の前年所得（合算）730万円以上	1日につき	2,000円
	夫婦の前年所得（合算）730万円未満		1,000円
アウトリーチ型	助産師	3～4時間	夫婦の前年所得（合算）730万円以上 1,600円
			夫婦の前年所得（合算）730万円未満 800円
	保育士	3～4時間	夫婦の前年所得（合算）730万円以上 1,200円
			夫婦の前年所得（合算）730万円未満 600円
全区分共通 双子等加算	夫婦の前年所得（合算）730万円以上	2人目以降 1人につき	600円
	夫婦の前年所得（合算）730万円未満		300円

※全区分共通で生活保護・住民税非課税世帯は無料

<実施結果>

- (1) 利用人数 実人数 24人
 延人数 32人 (宿泊型 11人、デイサービス型 9人、アウトリーチ型 12人)
- (2) 利用申請時期 妊娠中 7人、出産後 17人

5 のこのこ子育て支援事業 (家事支援事業)

妊娠中から子育て期は育児と家事の両立となり、ゆとりのない生活となりやすいことから保護者の家事負担を軽減し、ゆったりとした気持ちで子どもと過ごす時間を確保することを目的に事業所等へ委託し実施する。

<実施状況>

- (1) 委託先 シルバー人材センター、社会福祉協議会
- (2) 実施日数 令和4年4月1日～令和5年3月31日 (土日・祝日・年末年始を除く)
 午前8時30分～午後5時
- (3) 対象者 妊婦から就学前までのお子さんがいる方
 18歳未満のヤングケアラー
- (4) 周知 母子健康手帳の交付時にちらし配布、健康ガイド、ホームページ等
- (5) 内容 家事支援 (調理、洗濯、掃除、買物など)
- (6) 利用頻度 ① 妊婦から生後1年の子がいる家庭
 週2日上限、1日2時間まで
 ② それ以外の家庭
 週1日上限、1日2時間まで
- (7) 利用料金 ① 児童通所受給者証をお持ちの方、サポートファイルをお持ちの方、療育手帳A・B判定、身体障害者手帳1～3級、精神障害者手帳1～2級いずれかをお持ちの方、保護者が障害者手帳を所持し、かつ医療費の助成制度対象の方
 1時間200円
 ② 生活保護世帯及び市民税非課税世帯、ヤングケアラー 無料
 ③ それ以外の家庭 1時間500円

<実施結果>

- (1) 申請人数 23人
- (2) 延利用時間 578時間
- (3) 申請時年齢内訳 (人)

委託先	妊婦	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
シルバー人材センター	14	4	1	1	1	1	0	22
社会福祉協議会	1	0	0	0	0	0	0	1
計	15	4	1	1	1	1	0	23

- (4) 利用時間数 (時間)

委託先	妊婦	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
シルバー人材センター	70	294	59	74	6	20	24	547
社会福祉協議会	9	22	0	0	0	0	0	31
計	79	316	59	74	6	20	24	578

6 多胎妊産婦サポーター事業

多胎児の子育ての負担感や孤立感の軽減を図ることを目的に多胎妊産婦サポーターを派遣し外出時の補助、日常の家事及び育児の介助を実施する。

<実施状況>

- (1) 実施日時 令和4年4月1日～令和5年3月31日（土日・祝日・年末年始を除く）
午前9時～午後5時
- (2) 対象者 多胎妊婦及び就学前までの多胎児を持つ保護者
- (3) 周知 母子健康手帳の交付時にちらし配布、健康ガイド、ホームページ
対象者へ個別通知
- (4) 内容 育児・家事・外出支援（母親が一緒にいるなかでの支援が基本）
- (5) 利用制限 週1日、1日2時間まで。ただし、外出支援として病院受診及び乳幼児
健診などの場合は終了まで。
- (6) 利用料金 無料

<実施結果>

- (1) 利用人数 実人数4人
- (2) 延利用時間 21時間
- (3) 対象者及び委託先別利用状況

多胎児の年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	計
利用人数（人）	1	0	1	2	4
利用時間（時間）	5	0	3	13	21

7 母乳相談

授乳に関する不安を軽減し、母親が安心して子育てができるよう個別相談を行っている。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎週月曜日・木曜日（年91回） 午前10時～午後3時30分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 妊産婦
- (4) スタッフ 助産師
- (5) 周知 広報、健康ガイド、ホームページ、うーみんナビ等
- (6) 内容 授乳相談、乳房ケア、卒乳など乳房に関する相談、必要時乳房マッサージ

<実施結果>

実施人数 (人)

実人数			延人数		
妊婦	産婦	計	妊婦	産婦	計
4	43	47	11	119	130

8 うみのこ広場

子育てに関する相談を気軽に利用できる場である子育て世代包括支援センター「うみのこ」の周知と子育て不安の軽減を図ることを目的に子どもの遊び場&相談の場として実施する。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎月第3月曜日（年12回） 午前10時～正午
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 入園前の乳幼児とその保護者
- (4) スタッフ 保健師2～3人、子育てコンシェルジュ、心理相談員
- (5) 周知 広報、健康ガイド、ホームページ、うーみんなナビ、ちらし
- (6) 内容 自由遊び（ベビー玩具、ままごと、ボールプール、大型積み木、滑り台）計測（希望者）

<実施結果>

参加人数（延人数）

（人）

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	36	39	59	48	36	36	52	60	49	49	78	78	620

9 電話・面接・家庭訪問等による相談

妊婦から18歳までの子どもとその保護者が安心して妊娠・出産・子育てができるよう専門職による相談を実施している。

<実施状況>

- (1) 対象者 妊婦から18歳までの子どもとその保護者
- (2) スタッフ 保健師、子育てコンシェルジュ、心理相談員、助産師、家庭児童相談員
- (3) 周知 健康ガイド、ホームページ、うーみんなナビ等

<実施結果>

(1) 相談方法内訳（延人数）

（人）

	保健師	子育てコン シェルジュ	心理相談員	助産師	家庭児童 相談員	計
電話	184	215	8	300	38	745
面接	93	163	88	91	12	447
訪問	15	27	3	0	67	112
メール	8	4	0	2	0	14
計	300	409	99	393	117	1,318